

濱崎

はまさきけいすけ

計介

さん



▲「納涼盆踊り大会」では各チームが趣向を凝らした踊りを披露
◀ 檜から、生歌と生演奏で会場を盛り上げる

プロフィール

■ 濱崎計介(はまさきけいすけ)さん/日の出在住/千歳民謡連盟幹事長 兼 副会長、千歳市文化団体連絡協議会副会長/熊本県出身。昭和35年に自衛官として千歳市に赴任。自衛官時代から今日に至るまで、市民納涼盆踊り・盆踊り大会の運営に携わる。

7月15日からのロングラン「千歳市民夏まつり」のフィナーレを飾る「市民納涼盆踊り・盆踊り大会」。伸びやかな歌声と三味線や尺八、和太鼓の力強い演奏に、胸が躍るといっても多いのではないだろうか。

● 納涼盆踊りに関わるようになったきっかけは？

「私は、元自衛官です。所属していた第11普通科連隊で、昭和53年ごろから盆踊りの音響を支援するようになりました。当時は今のような音響設備がなかったため、部隊のスピーカーを使って良い音を出すことにとても苦労しましたね。」

私は、部隊の広報を担当していたのですが、仲間から「広報担当者た

る者、何か芸がなきや」と言われたことがきっかけで、テレビで観た民謡と三味線を始めました。私は、もともと《カタブツ》な人間で、人前で歌ったり演奏したりするなんて考えられなかったのに、始めてみると楽しいものです(笑)。

昭和58年に千歳民謡連盟の会員となり、納涼盆踊り会場の檜の上で演奏することもありました。平成2年に自衛官を定年退職してからも、民謡連盟の会員として盆踊りに関わり続けることになったのです。」

● 現在は、納涼盆踊りでのどのような活動をされていますか？

「平成4年に民謡連盟の幹事長になったからは、演者としてはなく、盆踊りで歌や三味線、尺八などを担当する会員の調整を行っています。民謡連盟には、現在7つの会が加盟

生歌・生演奏で盛り上げる盆踊り

「皆さんに気持ちよく踊ってもらいたい」



しており、それぞれの会が担当する日時を割り振っています。昨年からの、新しい取り組みとして、最終日の「納涼盆踊り大会」は、各会の若手で、最も上手な方を選抜して実施することにしました。若い力があふれる、素晴らしい演奏に合わせ、踊り手の皆さんに気持ちよく踊ってもらいたいと思っています。」

● 今後の目標はありますか？

「千歳の盆踊りの魅力は、何といっても生歌と生演奏で踊れること。歌と楽器、踊りが一体となったときに生まれる会場の高揚感、CD伴奏では生み出せません。近年は、民謡の担い手が減り、CDを流す場面も多くなりましたが、しっかりと後継者を育て、盆踊りが続く限り、生歌と生演奏を提供していきたいですね。」

「参加者がいきいきとしている姿を見るのが好き」という濱崎さん。盆踊り当日も、会場で音響などの確認に余念がありません。盆踊りを陰で支える姿勢に「縁の下の力持ち」という言葉が思い浮かびます。



市民納涼盆踊り
8月16日(水)・17日(木)
18時～20時30分
グリーンベルトおまつり広場

市民納涼盆踊り大会
8月18日(金)
17時50分～受付
グリーンベルトおまつり広場～ニューサンロード～新橋通り～新川通り

当日自由参加歓迎

【お問い合わせ先】千歳市民夏まつり実行委員会
事務局 (千歳商工会議所内)
☎(23) 2175 ☎(22) 2122